

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

都道府県名	熊本県
市区町村名	水俣市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
水俣市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	総合的な学習の時間で、学習支援に参加する地域ボランティアを探し、依頼する手続きが、教員の負担となっている。	市全体で地域学校協働活動推進員を中学校区に1人ずつ、計4人配置し、学校と地域の連絡調整等を行う。また新たなボランティアを発掘し、教員の業務の負担軽減を図る。	学校支援ボランティアを増やし、授業に求められる人材をリスト化することで、学校の要望に応え地域と学校を結ぶ。	ボランティアとしてリストに登録した人数	42	人	50	42	2 成果：地域学校協働活動推進員が3校から学習支援に関する相談を受け、学習支援ボランティアリストの中から適任のボランティアを選任・依頼することで、地域の人材を教育活動に活用し、学校の要望に応じるとともに教員の負担軽減に寄与した。課題：登録された人材に十分な活動機会が提供されず、学校からの依頼がない状態が続いたことで、登録を辞退するケースが増加した。改善点：学校からの依頼を待つだけでなく、地域学校協働活動推進員が登録された人材の活用を念頭に置いた具体的な活動案を学校に提案することで、学校側が依頼しやすい環境を整える。